環境アセスメント学会

2023 年度 第 22 回大会プログラム

The 22nd Annual Conference Program in 2023

The Japan Society for Impact Assessment

2023 年 9 月 1 日（金)、2 日（土）

1-2 September 2023

千葉大学西千葉キャンパス人文社会科学系総合研究棟

及びオンラインによる ハイブリッド開催

2023年度環境アセスメント学会第22回大会開催について

2023年度環境アセスメント学会第22回大会を、千葉大学西千葉キャンパスで開催することとなりました。今年は、昨年に引き続き、オンライン参加が可能な対面開催といたします。また、今年から、会場を確保して懇親会を実施するとともに、エクスカーションとして成田国際空港を訪問し、成田国際空港の機能拡張にともなう環境アセスメントについての意見交換を実施することといたしました。円滑な大会運営に努めますが、ご参加いただくみなさまにおかれましても、大会運営にご協力いただきますようお願い申し上げます。

環境アセスメント学会第22回大会実行委員長
倉阪秀史（千葉大学大学院社会科学研究院教授）

【参加申込等に係る注意事項】

・大会に参加される方は、原則として、事前の大会参加申込と参加費振込が必要となります。会場での参加費の支払い受付は最小限にさせていただきます。

・学会ホームページに掲載の方法で参加申込及び参加費振込をお願いします。大会の参加申込の締切は、早期申し込み（割引あり）は8月18日（金)、通常申し込みは8月28日（月）です。会場での当日申し込みは割高となりますので、事前の参加費振り込みをお願いします。

・オンライン参加に必要なID等及び要旨集ダウンロードの情報は、事前申し込みをいただいた方にメールでお送りします。

・なお、開会式及びシンポジウム「これからの環境アセスメント制度の方向性を考える」は一般公開としますので、参加申込のみで参加いただけます。この場合、配布資料は発行いたしません。

【大会プレイベントのご連絡】

8月31日（木）14:00-17:00（13:30開場）に、環境省主催、環境アセスメント学会後援で、「カーボンニュートラルとネイチャーポジティブの同時達成に向けた取組～環境配慮型再エネの推進に向けて～」が開催されます。大会と同じ会場（西千葉キャンパス人文社会科学系総合研究棟）で実施し、Web配信も行われます。参加費無料です。環境省主催シンポジウムへの参加方法等については、環境省HP（環境影響評価情報支援ネットワーク等）でご案内します。

環境アセスメント学会第22回大会実行委員会

倉阪秀史（千葉大学：実行委員長）　宮崎文彦（千葉大学：副実行委員長）　伊東英幸（日本大学）
柴田裕希（東邦大学）　竹内彩乃（東邦大学）　宮下一明（㈱東京久栄）　松島正興（㈱三菱地所設計）
佐藤律子（日本工営㈱）

2023 年度　第 22 回大会プログラム
2023 年 9 月 1 日（金)、2 日（土）　千葉大学西千葉キャンパス及びオンライン参加による開催

大会スケジュール・プログラム概要
大会 1 日目（9 月 1 日、金曜日）　人文社会科学系総合研究棟

9:00　受付開始（ロビー）	
9:30-10:30　2 階　マルチメディア会議室 一般研究発表①　制度【3 件】	1 階　マルチメディア講義室 一般研究発表②　太陽光他【3 件】
10:30－10:40　休憩	
10:40-12:00　2 階　マルチメディア会議室 一般研究発表③　参加【4 件】	1 階　マルチメディア講義室 一般研究発表④　生物多様性・景観【4 件】
12:00-13:00　昼食	
13:00-14:00　1 階　共通演習室 1 ポスターセッションコアタイム　【6 件】	
14:00-14:10　2 階　マルチメディア会議室 開会式　開会挨拶　藤田　八暉（本学会会長／久留米大学）	
14:10-15:10　2 階　マルチメディア会議室 受賞記念講演 優秀賞受賞記念講演 研究部門受賞者　田中　章（東京都市大学） 「ミティゲーション・ヒエラルキーと代償ミティゲーション」 実務部門受賞者　小松　裕幸（清水建設㈱） 「モノづくりに貢献するアセスからコトづくりにも貢献するアセスへ」 奨励賞受賞記念講演 実務部門受賞者　福田　悠太（日本工営㈱） 「国土保全事業に活かす環境アセスメントの思想」 実務部門受賞者　柴田　勝史（㈱プレック研究所） 「プラス面の影響に着目したポジティブ・アセスメントの可能性について」	
15:10-15:20　休憩	
15:20-17:30　2 階　マルチメディア会議室 大会実行委員会・企画委員会共催　公開シンポジウム テーマ：これからの環境アセスメント制度の方向性を考える 総合司会：村田佳壽子評議員	
17:50-19:30 懇親会　千葉大学生協食堂	

大会２日目（9 月 2 日、土曜日）　人文社会科学系総合研究棟

9:00　受付開始（ロビー）	
9:10-10:30　2 階　マルチメディア会議室 特別集会 1　「若手研究会セッション～再エネ促進区域・適地選定お助け隊～」	9:10-10:30 1 階　マルチメディア講義室 一般研究発表⑤　技術 1【4 件】
10:30-10:40　休憩	
10:40-12:00　2 階　マルチメディア会議室 特別集会 2　『持続可能性アセスメントの手引（案）』について	10:40-12:00 1 階　マルチメディア講義室 一般研究発表⑥　技術 2【4 件】
12:00-12:10　休憩	
12:10-12:20 2 階・マルチメディア会議室 ポスター賞表彰／閉会式	
12:30　エクスカーション　成田国際空港見学	

会場案内図　西千葉キャンパスマップ

プログラム詳細

一般研究発表プログラム及び特別集会
（注：肩書きは報告者のみ、発表時間＋質疑は各 20 分、発表形式：〇現地発表、●オンライン発表）

大会 1 日目（9 月 1 日、金曜日）　人文社会科学系総合研究棟
■一般研究発表①　「制度」　2 階マルチメディア会議室
座長：上杉哲郎（学会常務理事）　座長補佐：朝倉和宏（環境省）

1	9:30-9:50	陸上風力発電に係る環境アセスメント制度の最新の動向 〇福田朋也（環境省）、朝倉和宏
2	9:50-10:10	洋上風力発電の環境アセスメント制度の検討状況に係る最新の動向 〇森田紗世（環境省）、鈴木祐介、平山歩夢、髙宮康大
3	10:10-10:30	気候変動適応を考慮した評価指標及び対策検討に関する基礎的研究 〇尾原正敬（(株）千代田コンサルタント）、岡本直也、平尾実、渡邉英明、森本尚弘

■一般研究発表②　「太陽光他」　1 階マルチメディア講義室
座長：傘木宏夫（学会常務理事）　座長補佐：森川翔太（東京久栄）

1	9:30-9:50	庁内・自治体間連携における太陽光発電設備設置と景観保全施策との両立の課題 〇中島健留（株式会社アーバンデザインコンサルタント）、荒井歩
2	9:50-10:10	耕作地を活用した太陽電池発電所計画地における雨水流出率実験 〇道山晶子（(一財）九州環境管理協会）、村橋輝紀、石岡記由
3	10:10-10:30	再生可能エネルギー事業による環境紛争の発生状況とその要因 ●長澤康弘（東京工業大学）、錦澤滋雄

■一般研究発表③　「参加・手続き」　2 階マルチメディア会議室
座長：奥真美（学会監事）　座長補佐：長岡篤（千葉商科大学）

1	10:40-11:00	東京都環境影響評価条例の成立過程における住民運動等の役割 〇傘木宏夫（ＮＰＯ地域づくり工房）
2	11:00-11:20	環境アセスメントの科学性と民主性 －神宮外苑再開発計画アセスメントを事例に－　〇原科幸彦（千葉商科大学）
3	11:20-11:40	地域環境知（ILEK）を用いた戦略的環境アセスメント（SEA）のステークホルダー意識分析：ラオス国ヴィエンチャン市都市交通マスタープラン（VTMP）改訂調査を事例として　〇林田貴範（(株）国際開発センター）
4	11:40-12:00	コロナ禍期間中のアセス手続事例 〇井口翔亮（パシフィックコンサルタンツ株式会社）、渕澤智典、宇田川学、渡辺弘生、浅井健太

■一般研究発表④　「生物多様性・景観」　1 階マルチメディア講義室
座長：荒井歩（学会理事）　座長補佐：高宮康大（環境省）

1	10:40-11:00	日本での生物多様性オフセットの実施における課題の研究 -実際の事例におけるノーネットロスの検討を通して-　○川村昂史（東京都市大学）、田中章
2	11:00-11:20	サルーラ地熱開発プロジェクトの生物多様性 オフセット計画の分析 ○アビカマアルフォンス（東京都市大学）、
3	11:20-11:40	米国における自然復元事業による経済効果に関する研究 ○松本知季（東京都市大学）
4	11:40-12:00	歴史的景観の影響評価を目的とした景観特徴・景観敏感度評価の導入 ○袁 星雅（筑波大学）、下田一太、吉田正人

大会 2 日目（9 月 2 日、土曜日）　人文社会科学系総合研究棟
■特別集会①　「若手研究会セッション～再エネ促進区域・適地選定お助け隊～」　2 階マルチメディア会議室
コーディネーター：伊東英幸（日本大学）　座長補佐：長島匠（名古屋大学）

9:10-10:30
環境アセスメント学会若手研究会では、「再エネ促進区域・適地選定お助け隊」の活動に取り組んでいる。趣旨として改正温暖化対策推進法に伴う国内地域での再生可能エネルギー促進区域選定等に関連した自治体の課題を題材に「AI を活用した webGIS ツールを用いた再エネ適地に関する情報提供」、「地域調整や合意形成の知見提供」の二つの側面から発表、ディスカッションを実施し、自治体支援を目指す。
＜プログラム＞
9：10～9：20　開会の挨拶、本セッションの趣旨説明：伊東英幸（日本大学）
9：20～9：32　AI を活用した自律型 webGIS ツールを用いた再エネ適地評価モデル：林希一郎（名古屋大学）
9：32～9：44　再生可能エネルギーによる地域トラブルと合意形成のポイント：錦澤滋雄（東京工業大学）
9：44～9：56　再生可能エネルギーと地域活性化：竹内彩乃（東邦大学）
9：56～10：25　発表者、コメンテーターを含めたミニディスカッション、質疑応答
・今後のお助け隊の活動について
10：25～10：30　統括、閉会

■一般研究発表⑤　「技術 1」　1 階マルチメディア講義室
座長：宮下一明（学会常務理事）　座長補佐：柴田裕希（東邦大学）

1	9:10-9:30	環境騒音の地点ごとのバラツキが評価判定に与える影響の検討 ○内田英夫（元東京農業大学）、岡澤宏
2	9:30-9:50	地熱発電所の環境アセスメントにおける新しい硫化水素測定手法の検討 ○岡田真秀（東北緑化環境保全株式会社）、土屋郷、青木一樹、平良千鶴子

3	9:50-10:10	中部太平洋 CCZ 海域のマンガン団塊鉱区における環境の類似性 ○村上知里（深海資源開発株式会社）、杉島英樹、福島朋彦
4	10:10-10:30	プラネタリーヘルス、微生物循環の重要性について ○中村弥和（株式会社 Re Flora）

■特別集会②　『持続可能性アセスメント導入の手引（案）』について　２階マルチメディア会議室
コーディネーター　柴田裕希（東邦大学）

10:40-12:00
持続可能性アセスメント（SA）研究会では、これまで 2 年間の研究活動を通じて SA に関する国内外の動向や文献を整理するとともに、国内の様々な主体を想定して望ましい SA 実施のありかたについて研究を行ってきた。本特別集会では、これまでの研究成果について取りまとめた「持続可能性アセスメントの手引（案）」を基に、SA の概念を整理するとともに我が国における SA 実施に向けた具体的な方法について報告を行う。そして、この報告に対し学会員と意見交流を図ることで、より現実的な手引の作成を図ることを目的とする。
第一報告（10 分）「持続可能性アセスメントの動向」○浦郷昭子（有限会社レイヴン）
第二報告（10 分）「持続可能性アセスメントの解説」○柴田裕希（東邦大学）
第三報告（10 分）「持続可能性アセスメント導入のイメージ」○上杉哲郎（株式会社日比谷アメニス）
補足説明（15 分）　○傘木宏夫（ＮＰＯ地域づくり工房）・○山本芳華（平安女学院大学）
意見交流（30 分）
まとめ　（5 分）

■一般研究発表⑥　「技術 2」　1 階マルチメディア講義室
座長：真田純子（学会常務理事）　　座長補佐：長澤康弘（東京工業大学）

1	10:40-11:00	環境アセスメント現地調査における気象ドローン活用検討（続報） ○福池晃（ムラタ計測器サービス株式会社）、池上匡，坂間将純，永島右光，塚川佳介
2	11:00-11:20	リモートセンシング技術を用いた用途地域ごとの都市緑地評価手法の検討 ー大気補正効果に着目してー　○宮﨑いつ歌（東邦大学）、柴田裕希
3	11:20-11:40	高層気象観測のドローン適用可能性と環境配慮（その２） ●江目順一（東北緑化環境保全株式会社）、佐藤久成、小野寺孝典、笹川健一
4	11:40-12:00	k.LAB を用いた日本の小水力発電立地選定評価モデル開発に係る研究 ○長島匠（名古屋大学）、林希一郎、山崎由理

■ポスターセッション（注：肩書きは主報告者のみ）　【コアタイム 9月1日（金）13：00-14：00】
1階 共通演習室1　※「若手部門」は優秀ポスター賞の候補となります。

1	SIA を用いた地熱開発プロセスの分析～開発中止事例における温泉事業者の認識に着目して～　○柳井愛子（東邦大学）、柴田裕希	若手
2	環境影響評価における累積的影響に関する意見の状況 -大臣意見、首長意見を中心にして-　○森田舞（東邦大学）、柴田裕希	若手
3	環境影響評価制度における災害や事故の取り扱いに関する傾向分析　○橋本輝（東京工業大学）、村山武彦、錦澤滋雄	若手
4	農業地域の道路緑地は野生動物に生息地を提供する　○浅利裕伸（帯広畜産大学）、吉澤知恵，上月佐葉子，池田幸資	一般
5	道路緑地においてネズミ類の生息数に寄与する要素について　○上月佐葉子（パシフィックコンサルタンツ株式会社）、谷口睦，池田幸資，三塚多佳志，浅利裕伸，吉澤知恵	一般
6	北海道国道44号の糸魚沢アーチカルバートを対象とした動物用横断施設の利用実態分析　伊東英幸、○笠木一樹（日本大学大学院）	一般

■エクスカーション　成田国際空港の機能拡張にともなう環境アセスメントについて
9月2日（土）12:30　千葉大学正門ロータリー出発
13:20　成田国際空港（NAA）本社ビル到着
13:30　挨拶・成田空港の更なる機能強化及び環境影響評価手続きの説明
13:50　質疑応答・意見交換
14:20　意見交換パート終了
14:30　現地見学（バスに乗車ーランプコントロールタワー見学）
15:30　NAA 本社ビル到着
15:40　終了　17:00頃　西千葉駅解散

【オンラインで参加される方への注意事項】
・オンライン参加登録された方には、大会までに大会実行委員会よりメールで URL と参加者 ID を用いて、名前を「ID+氏名（例：906 亜瀬須太郎）」として Zoom ミーティングに入室してください。必ず参加登録された本名のフルネームを使ってください。ニックネームでの参加は拒否されます。
・時間に余裕を持って入室してください。実行委員会で確認できるまで待機室でお待ちください。
・Zoom ミーティングに入る際には、講演者の邪魔にならないよう、マイクのミュート並びにカメラを停止してください。
・発表や質疑応答の妨げにならないようにしてください。座長（ホスト）が強制的にミュートやビデオの停止を行うことがあります。
・質疑応答において、ご意見・ご質問がある方は、「反応」の「挙手」ボタンを押してください。座長（ホスト）から指名されたら、ビデオをオンにし、マイクのミュートを外してお話しください。最初に所属と氏名を名乗ってください。時間の関係上すべてのご意見・ご質問を紹介できないこともあります。
・講演を録音・録画しないでください。「レコーディング」ボタンがありますが、許可されません。

大会実行委員会・企画委員会共催　公開シンポジウムの概要
「これからの環境アセスメント制度の方向性を考える」

1. 開催主旨

昨年度、環境アセスメント学会は創立 20 周年という大きな節目を迎え、環境影響評価の多様な発展に向けた公開シンポジウムを開催し、非常に多岐にわたる視点から今後の環境アセスメント制度の展望について議論がなされました。また、学会創立 20 周年記念事業では、様々なイベントや記念誌等を通じてこれからの環境アセスメント制度に関する多様な提案がなされ、学会内での次なる環境影響評価法の改正を睨んだ議論が盛んになっているところです。

さらに、本年度には第六次環境基本計画策定のための検討が進められており、当学会では「第六次環境基本計画タスクフォース」を設置し、中央環境審議会総合政策部会の中間とりまとめの作成に活かされるように提言の検討を行っています。

これらの状況を踏まえ、本公開シンポジウムでは、「これからの環境アセスメント制度の方向性を考える」として、現在検討が進められている第六次環境基本計画検討の方向性などについて環境省から基調報告を頂いた上で、学会からの環境基本計画への提言、創立 20 周年記念事業からの提言を報告し、これからの環境アセスメント制度に向けた議論を行います。

2. 日時・場所

令和 5 年（2023 年）9 月 1 日（金）　15:20～17:30
千葉大学西千葉キャンパス人文社会科学系総合研究棟　マルチメディア会議室

3. 進行

総合司会：村田佳壽子（学会評議員、日本環境ジャーナリストの会）

１）主旨説明
上杉哲郎　（学会企画委員長、常務理事、（株）日比谷アニメス）

２）基調報告
第六次環境基本計画の方向性(仮題)　大倉紀彰　環境省大臣官房環境影響評価課長

３）報告
（１）第六次環境基本計画への学会からの提言　小林正明（学会第六次環境基本計画タスクフォース委員長、理事、公益社団法人環境生活文化機構）
（２）学会 20 周年記念事業からの提言　田中充（環境アセスメント学会創立 20 周年記念事業特別委員会委員長、学会顧問、法政大学名誉教授）

４）パネルディスカッション
コーディネーター　大塚直(学会常務理事、早稲田大学教授)
パネリスト：上記講演者及び奥真美（学会監事、東京都立大学教授）

4. その他

参加費は無料ですが、事前に出席登録をお願いします。詳細については、今後、学会 HP 上で公表します。会場での開催とともに、オンラインによる参加も可能とします。

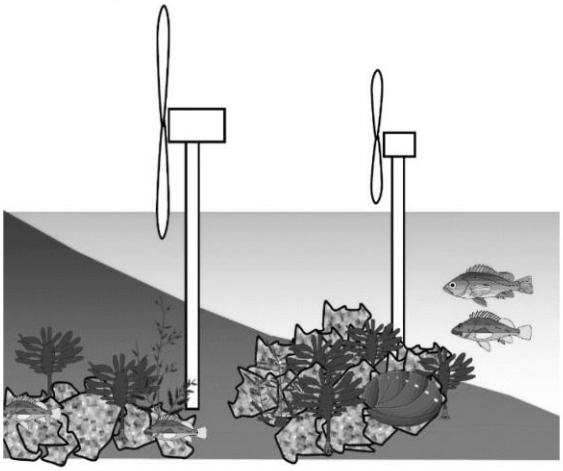
自然を識り、豊かな未来につなぐ

株式会社東京久栄

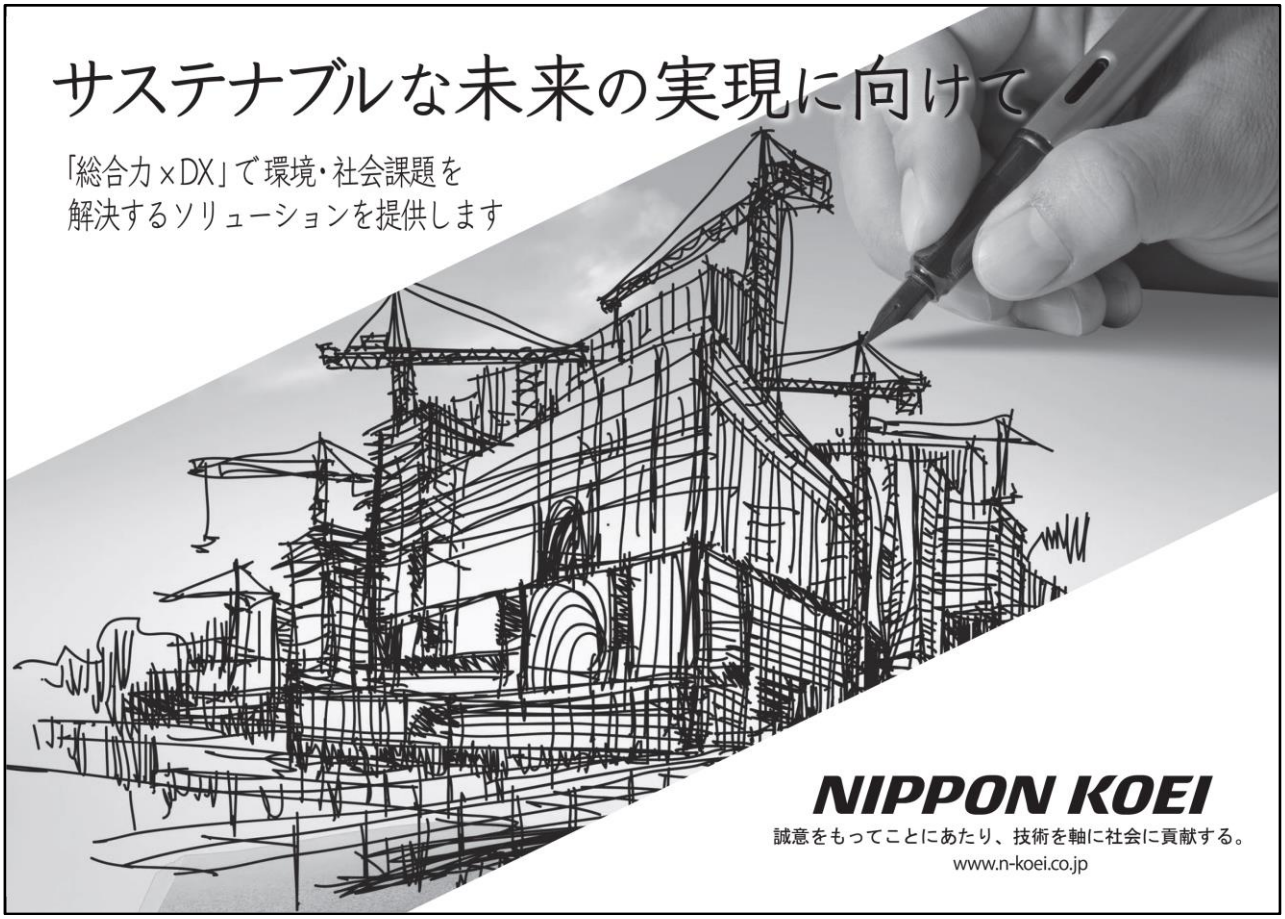
TOKYO KYUEI CO., LTD.

- ✓ 環境コンサルタント
- ✓ 海洋エンジニアリング
- ✓ 水中メンテナンス
- ✓ 新領域（再エネ、地域振興）

〔本　社〕東京都千代田区岩本町 2-4-2
江戸新金網ビル４F,７F
〔技術センター〕埼玉県川口市芝 6906-10
〔支店/営業所〕九州/ 千葉、磯部、
四国、広島、沖縄、
ジャカルタ



【藻場造成による漁業振興イメージ】

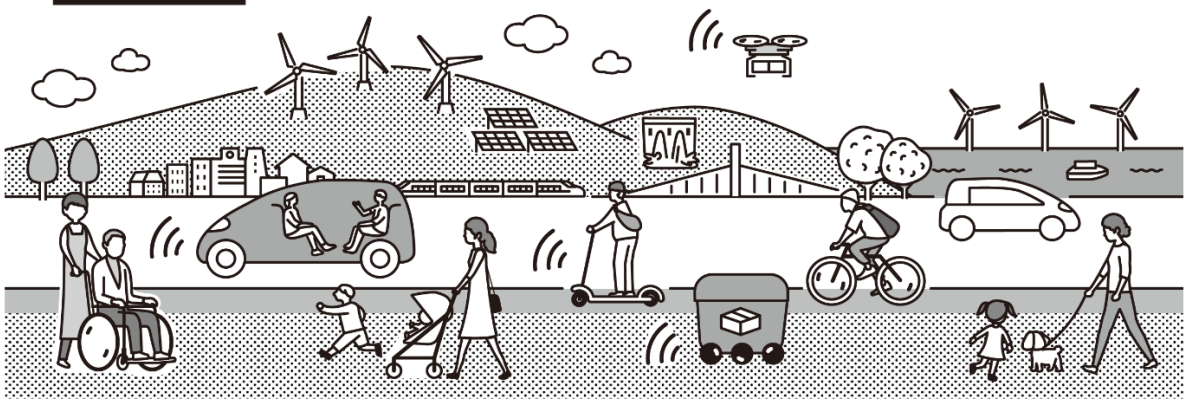


Pacific Consultants

Producing The Future™

Producing The Future

技術の力を、未来の希望に



パシフィックコンサルタンツ株式会社

〒101-8462 東京都千代田区神田錦町三丁目22番地

地域本社・支社：首都圏、北海道、東北、北陸、中部、大阪、四国、中国、九州、沖縄

海外拠点：シンガポール支店、ジャカルタ駐在員事務所、マニラ駐在員事務所

社会イノベーション事業本部　グリーン社会戦略部

TEL:03-6777-1671（部代表）FAX:03-3296-0527

www.pacific.co.jp

株式会社 ポリテック・エイディディ

POLYTECH ADD

私たちは、明日の「都市」と「環境」を創造する
コンサルティング集団です

〒104-0041
東京都中央区新富1－18－8 RBM築地スクエア
TEL: 03-6222-8911 FAX: 03-5541-3501
URL: https://www.polyadd.co.jp

代表者　代表取締役社長　望月　宣典
設　立　昭和50年（1975年）5月
登　録　建設コンサルタント登録
（都市計画及び地方計画部門、造園部門、建設環境部門）
一級建築士事務所登録

3つのグループの力を結集して
コンサルティングを行います。

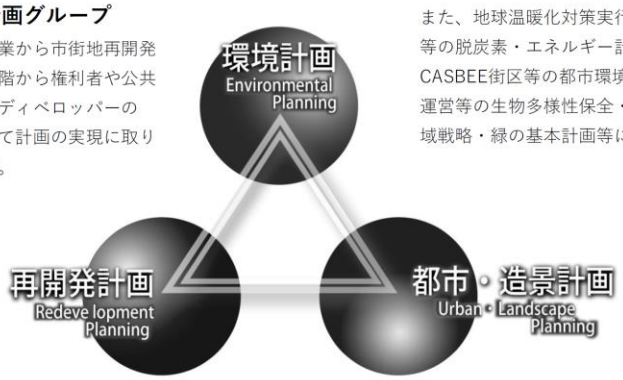
環境計画グループ

計画段階から事業段階までの環境アセスメントの一連の対応（配慮書・方法書・準備書・評価書、住民・行政・審議会対応、事後調査等）を行っています。

また、地球温暖化対策実行計画、カーボンニュートラルに向けた調査検討、排出量取引等の脱炭素・エネルギー計画、ABINC・SEGES認証等の生物多様性保全・緑の評価、CASBEE街区等の都市環境性能評価、自然環境保全・再生計画や外来種防除・かいぼり運営等の生物多様性保全・生態系保全計画、環境基本計画や環境報告書・生物多様性地域戦略・緑の基本計画等に取り組んでいます。

再開発計画グループ

民間の共同事業から市街地再開発まで、初期段階から権利者や公共団体あるいはディベロッパーの方々と協力して計画の実現に取り組んでいます。



都市・造景計画グループ

都市計画マスタープラン、まちづくり都市再生・地域再生、産業振興、公園・緑地等の計画・設計の他開発申請業務にも取り組んでいます。

未来を切り拓く環境アセスメント

2023 年度主要施策

●再生可能エネルギー分野の環境アセスメントの進展への貢献
●自然的・社会的リスクに対する環境アセスメントの貢献
●本部・支部一体となった活動の推進による会員サービスの向上
●ベトナムとの海外交流を通じたアジア地域の持続的発展への貢献
●環境アセスメント士の活躍の場の拡大
●若い世代・中堅技術者の育成や大学生を対象とした業界 PR など会員の人材確保や人材育成サポート
●最新の環境の問題・課題についてもセミナー・サロンを通じた情報発信

「環境アセスメント士」 認定資格試験

「環境アセスメント士」認定資格制度は、環境アセスメントに専門特化した資格制度であり、(一社) 日本環境アセスメント協会が環境アセスメント実務者の専門的な技術・技能を認定するものです。本資格制度による「環境アセスメント士」有資格者数は、現時点で総勢約 650 名に達しました。

2023 年度の認定資格試験は、11 月 23 日(木・祝)に実施する予定です。

＜2023 年度　認定資格試験の概要＞
【資格部門】:「生活環境部門」並びに「自然環境部門」
【受験資格】: 四年制大学卒；実務経験 5 年以上、大学院卒；3 年以上、左記以外；8 年以上
【試験科目】: 3 科目(業務経験、専門知識・共通基礎、管理技術等)
【試験日時】: 2023 年 11 月 23 日(木・祝)
【試験場所】: 札幌、東京、大阪、福岡
（問合せ先）資格･教育センター
TEL : 03-3221-6731　FAX : 03-3221-6732　E-mail : a-qec@jeas.org

(一社) 日本環境アセスメント協会（JEAS）

〒102-0092　東京都千代田区隼町 2-13　US 半蔵門ビル 7F
TEL : 03-3230-3583　FAX : 03-3230-3876　E-mail : jeas@jeas.org

JEAS

詳しい協会活動の内容、入会申込み等はホームページ
(URL: https://www.jeas.org)をご覧下さい。